

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 健康管理課, 所属班, 支援班, 電話番号, 57-3113, 内線, 基本方針, 3, 健やかでやすらぎのあるまちづくり, 施策, 1, 保健の充実, 施策の展開, 4, 母子保健の充実, 基本事業, 128, 乳幼児健康診査事業, 予算科目, 会計, 一般会計, 根拠法令, 母子保健法第13条

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返, 平成 9 年度~, 期間限定複数年度, 平成 __ 年度~, 平成 __ 年度まで, and a detailed description of the health checkup services for pregnant women and infants.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳(24年度の実績) 単位:千円, ② 延べ業務時間の内訳(24年度の実績) 単位:時間. Lists expenses like 1. 需用費, 2. 役務費, 3. 扶助費 and time spent on 準備, 契約・連絡調整, 事後.

Table with 5 columns: 費目内訳, 単位, 22年度(決算), 23年度(決算), 24年度(決算), 25年度(計画). Shows costs for 需用費, 役務費, 扶助費, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), and トータルコスト(A)+(B).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Complex table mapping 手段 (Main activities, targets, intent, upper goals) to 目的 (Activity indicators, target indicators, result indicators, upper result indicators) with corresponding data for 22-25 fiscal years.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か?..., ② 事務事業を取り巻く状況..., ③ この事務事業に対して関係者... 寄せられているか? Includes text about budget changes, public opinion, and service improvements.

事務事業名	妊婦・乳幼児健康診査事業 ①医療機関委託妊婦・乳児一般健康診査	課名	健康管理課	班名	支援班
-------	------------------------------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかないか？意図することが上位目的に結びついているか？ 妊娠初期から健診費用を助成することで、定期受診につなげ異常の早期発見と健やかな妊娠生活を送れるよう支援している。また、妊婦の経済的な負担を軽減することで、少子化対策にも繋がっている。乳児健診についても神経発達の評価に重要な時期に、公費負担で実施することで経済的な負担軽減と疾病・障害の早期発見につながり、安心して子を産み育てることができる。
	② 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 妊婦：市内妊婦全てを対象としているため適切である。 乳児：小児科医の乳児健診推奨時期は4・7・10ヶ月であり、4か月は集団健診、9～11か月は個別健診で実施しているが現在6～7か月健診も市で実施するよう千葉県医師会から要望が出ている。他市の動向を見ながら検討必要
有効性 評価	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 母子保健法で市町村が健診の受診を奨励することとなっている。県内全ての市町村が14回の健診を実施している。健診が受診しやすい環境づくりは少子化対策にも繋がる。
	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 赤ちゃん訪問や4ヶ月健診の際に受診の際に案内をしているが、乳児健診については受診票の使い忘れが見受けられ、ポスターを作成し医療機関への掲示を試みたばかりなので、引き続き受診状況を確認し、受診奨励の方法を見直していく必要がある。
効率性 評価	⑤ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】	次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ ポスター等で妊婦健康診査の定期受診の必要性について、また妊娠初期からの届出により経済的な負担の軽減につながるなど啓発できると、受診率が上がる可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> (2) 統廃合ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 妊婦健康診査は医療機関でしか実施できないため、他に手段がない。乳児の集団健診は4ヶ月健診のみの実施であり、医師の確保も難しく9～11か月健診は医療機関に委託するしかない。結果については有料で把握することはできるが、タイムリーな把握は難しく備考欄への詳細の記入がなければフォローにつながらない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 妊婦の経済的な負担軽減と定期受診の必要性について考えると、健康診査に対する費用を削減する余地はない。回数を減らしたり、公費負担額を減額すると未受診につながる可能性が高い。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員を活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 削減できるところがなく、業務時間の短縮は難しいため現状を維持していく。
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 妊娠の診断が遅れたり、家庭の事情等で妊娠届出が遅れるケースもあるが、市民であれば妊娠の診断がついた時点で初期から交付できサービスを受けられるため、公平である。病院でも初期に妊娠届出をして別冊1の交付(受診票)を受けよう指導している。転入者に対しても、該当であればその時点で受診票を発行している。	

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 妊婦については継続実施でよいと考える。乳児健康診査については、券の利用忘れをできるだけ減らすよう活動を開始しているので経過をみていきたい。
---	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業： <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①平成25年度中に、6～7ヶ月健診実施の必要性について検討する。 ②平成25年度中に、母子健康手帳交付時に定期的な妊婦健康診査の受診の必要性について啓発を強化する。 ③平成25年度中に、母子健康手帳交付時、子育て学級、乳児健診、育児相談等で9～11か月健診の受診勧奨に努めていく。																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①他市の状況等を踏まえて健診の必要性について検討する。 ②～③特になし																						